



Press release

Date
15 February 2012

Ayako Chano
Corporate Planning
GfK Marketing Services Japan
Tel. +81.3.5350.4632
Fax +81.3.5350.4662
Ayako.Chano@gfk.com

2011年第4四半期の家電・IT市場は前年同期比3割減

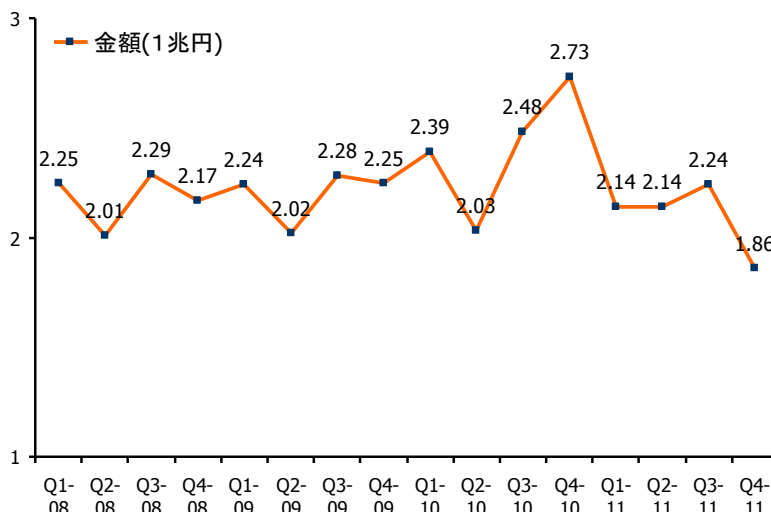
GfK TEMAX® Japan 2011年第4四半期より

2012年2月15日(東京) – 2011年第4四半期(10~12月)の家電およびIT市場は約1兆8,600億円で、前年同期比で30%を超える減少となった。

2011年第3四半期に続き、通信関連を除く全ての分野で前年を下回る結果となった。2010年秋のエコポイント制度変更前に発生した大規模な駆け込み需要の反動減が大きく起因したといえる。

2011年通年の家電およびIT市場規模は、対前年12.9%減の8兆3,830億円となった。2009年以降2011年まで、エコポイント制度とアナログ停波に向けた薄型テレビの普及が市場の拡大を押し上げてきた。しかしながら、2012年はこれらのプラス要因がなくなるため、2011年を下回る市場規模となることが予想される。

家電およびIT商品金額推移



GfK Marketing Services Japan
2-46-1 Honcho Nakano-ku,
Tokyo 164-0012
Tel. +813 5350 4632
Fax. +813 5350 4662
www.gfkrt.com/japan/
info.jp@gfk.com

Management Board:
Prof. Dr. Klaus L. Wübbenhorst
(CEO)
Pamela Knapp (CFO)
Dr. Gerhard Hausruckinger
Petra Heinlein
Debra A. Pruent
Wilhelm R. Wessels

Source: GfK TEMAX® Japan, GfK Retail and Technology

通信機器市場：スマートフォン販売が大きく伸長

通信機器市場は前年同期比 22.3%増となった。

携帯電話はフィーチャフォンキャンペーン、スマートフォンの新製品が市場を牽引した。特にスマートフォンの伸長が著しく、ワンセグ・おサイフケータイ等の機能を搭載した端末の増加によって、フィーチャフォンからの買い替えが進んだことに加え、スマートフォンユーザーが最新機種スマートフォンへ買い替えるケースも増加したと見られる。

ファクシミリ、固定電話はともに前年同期比マイナスとなった。主要キャリアから同一キャリア間通話無料のプランが出揃ったことで、固定電話離れは今後も加速すると見られる。

IT 市場：タブレット端末市場は前年の 2 倍に成長

IT 市場は、前年同期比 5.5%減のマイナス成長となった。タイ洪水の影響による供給不足の為、ストレージは 2 桁減となった。パソコンは洪水の影響が軽微だったとみられるが、リテールチャネルにおける平均単価の下落が続いたことにより前年割れとなった。

タブレット端末は参入メーカーの増加によりモデルが拡充され前年の約 2 倍に成長した。またスマートフォンやゲーム機等無線LAN対応機器の普及拡大に伴いコミュニケーションデバイスは 2 桁増となった。

小型生活家電市場：マイナス成長継続も、下落幅は縮小

小型生活家電市場は前年同期比 16.0%減のマイナス成長となった。

前年 12 月のエコポイント制度変更直前の駆け込み需要の反動により、エアコンは前年同期から 4 割近い減少となった。

半数以上のカテゴリーがマイナス成長となる中、クリーナ、コーヒーメーカー、ドライヤー、電気ストーブ、除湿機等はプラス成長となったため、市場全体の下落幅は前期より縮小した。

クリーナはロボットタイプとスティックタイプが、コーヒーメーカーはエスプレッソマシン、インスタントマシンが市場の成長を牽引し、それぞれ 7 四半期連続、8 四半期連続でプラス成長を維持した。

オフィス関連製品市場：平均価格下落が響き、前年割れ

リテールチャンネルにおけるオフィス関連製品市場は、前年同期比 2.5%減となった。複合機やシュレッダーは数量では二桁成長となったものの、平均価格の下落率が大きかったため金額では前年並みとなった。その他カテゴリーでも平均価格の下落が響き、金額では軒並み前年を下回った。

大型生活家電市場：前年特需の反動により冷蔵庫がマイナス成長

大型生活家電市場は前年同期比 18.7%減のマイナス成長となった。エコポイント制度変更に伴い前年 10 月・11 月に需要が集中した反動で、冷蔵庫は前年同期を 3 割強下回り 2 四半期連続のマイナス成長となった。

一方で、全自洗、オープン電子レンジは前期から続いてわずかなプラス成長となった。オープン電子レンジは内食志向の高まりやライフスタイルの変化に加え、レンジ用スチームケースをはじめとした調理グッズが引き続き人気を集めていることなどを背景に、4 四半期連続のプラス成長となった。

イメージング市場：15 四半期連続のマイナス成長、レンズ交換式カメラはタイの洪水の影響を受けた

イメージング市場は前年同期比 11.6%減と、15 四半期連続でマイナス成長となった。コンパクトカメラの不調に加え、レンズ交換式カメラは 10 月に発生したタイの洪水により、一部メーカーにおいて製品の供給不足が発生し、年末商戦において販売が落ち込んだ。交換レンズは、レンズ 2 本セットのモデルが好調で数量ベースでは 2 桁増となったものの、平均価格の下落により、金額ベースでは 2 四半期ぶりのマイナス成長となった。

AV 市場：前年同期比 65.8%減と大幅に縮小

2011 年第 4 四半期の AV 市場は前年同期比 65.8%減と大幅に縮小した。薄型 TV は前年同期にエコポイント制度の制度変更に伴う駆け込み需要で大きく伸長したことや、アナログ停波特需の反動減から、今四半期では前年同期比 80%以上の減少となった。DVD/Blu-ray Disc レコーダーも同様に、前年同期の半数程度であった。PMP も前年同期比 10%以上減少するなど、多くのカテゴリーで前年同期を下回った。

分類別金額推移/前年同期比



	Q1 2011	Q2 2011	Q3 2011	Q4 2011	Q4 11 /Q4 10	Q1-4 2011	Q1-4 11 /Q1-4 10
	金額(10 億円)	金額(10 億円)	金額(10 億円)	金額(10 億円)	+/-%	金額(10 億円)	+/-%
AV	653	623	637	421	-65.8%	2,334	-31.6%
イメージング (PH)	77	67	78	78	-11.6%	299	-16.1%
大型白物家電 (MDA)	246	239	274	224	-18.7%	984	-10.3%
小型白物家電 (SDA)	264	403	385	270	-16.0%	1,322	-4.1%
IT	440	396	392	370	-5.5%	1,598	-3.0%
通信関連 (TC)	407	362	422	406	22.3%	1,597	8.6%
オフィス関連 (OE)	54	52	51	93	-2.5%	250	-4.9%
GfK TEMAX [®] Japan	2,141	2,141	2,239	1,862	-31.9%	8,383	-12.9%

Source: GfK TEMAX[®] Japan, GfK Retail and Technology



本調査に関して

GfK TEMAX[®] は、GfK Retail and Technology の調査に基づく、耐久消費財市場（家電および IT 製品全般）のインデックスです。GfK TEMAX[®]インデックスは GfK Retail and Technology の小売店販売データに基づいており、調査対象となる小売店総数は世界各国計で 370,000 店舗以上にのぼります。GfK TEMAX[®]レポートは 2009 年 2 月より世界 30 カ国以上において発行されています。

全てのレポート及びプレスリリースは www.gfktemax.com に掲載されています。

詳細については、以下までお問い合わせください。

茶野 絢子
tel: +81-3-5350-4632
Ayako.Chano@gfk.com

GfK グループについて

GfK は 11,000 人のエキスパートを擁し、世界 100 カ国以上における消費者の生活、思考、購買を日々調査し、新しい見識を見出す世界トップクラスの市場調査会社です。

GfK は常に革新を続けており、最新テクノロジーと手法を用い、世界で活躍する企業の意思決定に必要な明確な情報を提供しています。2010 年の GfK グループの売上高は約 12 億 9 千万ユーロに達しました。

詳細については、以下 Web サイトをご覧ください。

www.gfk.com/

(Twitter のフォローはこちら: www.twitter.com/gfk_group)

お問合せ先
ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン 株式会社
茶野 絢子
東京都中野区本町 2-46-1 中野坂上サンブライトツイン 15 階
Tel. 03 5350 4632
Fax 03 5350 4662
Ayako.Chano@gfk.com

GfK Marketing Services Japan
2-46-1 Honcho Nakano-ku,
Tokyo 164-0012
Tel. +813 5350 4632
Fax. +813 5350 4662
www.gfkrt.com/japan/
info.jp@gfk.com

Management Board:
Prof. Dr. Klaus L. Wübbenhorst
(CEO)
Pamela Knapp (CFO)
Dr. Gerhard Hausruckinger
Petra Heinlein
Debra A. Pruent
Wilhelm R. Wessels